



2026 年 9 月 15 日

各 位

会 社 名 Green Earth Institute 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 伊原 智人
(コード番号：9212 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 管理部長 浦田 隆治
(TEL 03-5315-0531)

東京証券取引所スタンダード市場への市場区分変更承認に関するお知らせ

当社は、本日、株式会社東京証券取引所（以下「東証」）より、当社株式の市場区分をグロース市場からスタンダード市場へ変更することについて承認を受けましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回の市場区分の変更は、平素より当社を支えていただいております株主・投資家の皆さまをはじめ、パートナー企業、関係省庁その他すべてのステークホルダーの皆様からの長年にわたるご支援の積重ねによるものであり、心より御礼申し上げます。

記

1. 市場区分変更の概要

会社名	Green Earth Institute 株式会社
コード番号	9212
変更後の市場区分	東証スタンダード市場
変更前の市場区分	東証グロース市場
承認日	2026 年 9 月 15 日
変更日	2026 年 9 月 25 日（予定）

注 1. 変更日は、当社株式が東証スタンダード市場において売買される最初の日です。

2. 本件に関する東証の公表内容につきましては、日本取引所グループのウェブサイト (<https://www.jpx.co.jp/>) をご参照ください。

2. スタンダード市場承認を受けた今後の成長方針

当社は、2026 年 7 月 15 日に公表いたしました中長期ビジョンにおいて、当社を「第 2 創業」の局面と位置付け、「研究の GEI」から「稼ぐ GEI」への進化を通じて、バイオものづくりにおける統合型産業プラットフォーマーを目指す方針をお示しいたしました。

その実現に向け、微生物・発酵プロセスの設計から生産技術の確立に至る独自のバイオプロセス技術を基盤として、「2 階建ての成長エンジン」による成長戦略を推進しております。「1 階部分（稼ぐエンジン）」は、バイオ製品（化粧品原料・食品添加物・飼料添加物等）及び国内バイオ燃料を対象に、大手事業会社との協業により早期の収益化を図るプロジェクト群であり、現在全 16 パイプラインを推進しております（注 3）。「2 階部分（夢のエンジン）」は、1 階部



分で確立した技術・実績を基盤に、東南アジアをはじめとする世界市場へ圧倒的なスケールで展開する事業領域です。目標数値につきましては、同ビジョン中の中期経営計画をご参照ください。

また、2026 年 7 月 21 日に閣議決定された「日本の成長戦略」において、「バイオものづくり」は国内の産業競争力の強化及び経済安全保障に資する中核領域の一つとして位置付けられ、2040 年における日本企業の売上目標 11.9 兆円（グローバルシェア 10%）が示されております。

同時に発表された「戦略 17 分野における「主要な製品・技術等」の官民投資ロードマップ」においては、国内投資支援や需要創出支援・市場確保・社会実装支援等の政策パッケージを講ずることが示されております。当社は、こうした政策的な後押しを事業機会として確実に捉え、スタンダード市場への市場区分変更を機に、次の成長領域において積極的な事業拡大を推進してまいります。

成長領域	具体的な取組・展望
開 発 型 バイオフィアウンドリ	事業会社等からの受託により、微生物・発酵プロセスの設計から前処理・スケールアップ・サンプル生産までを一貫して支援。これまでに 17 件の生産実証プロジェクトを推進（注 3）。2027 年 4 月以降はこれらの機能を「バイオフィアウンドリサービス」として本格提供し、バイオものづくりの社会実装を目指す企業のパートナーとしての地位を確立する。
生 産 型 バイオフィアウンドリ	化粧品原料等 4 製品、食品添加物 3 製品（マイコプロテイン、NMN 等）、飼料添加物 3 製品の商用化を推進。OEM 候補企業・パートナー企業との連携により、生産技術検証からパイロットテスト、商用サンプル生産を経て順次商用生産へ移行し、安定的な収益基盤を構築する。
テ ク ノ ロ ジ ー パ ッ ケ ー ジ	確立した技術・菌株・生産プロセスを設備一式とともにパッケージ化し、ライセンス等を提供。木質バイオマス由来のエタノールの 2 件のプロジェクトのうち、森空プロジェクト®（日本製紙株式会社・住友商事株式会社・日本航空株式会社・エアバス社・住友林業株式会社）はセミコマーシャルプラント建設中（2027 年稼働予定）、大王製紙株式会社とのプロジェクト）はパイロットプラント建設中（大王製紙三島工場にて 2027 年稼働予定）、OPT 由来のバイオエタノール（電源開発株式会社とのプロジェクト）はパイロットテスト準備（東南アジアにて 2027 年テスト開始）として現地パートナー企業と共同で検証試験を推進中。
グ ロー バ ル 展 開 / バ イ オ 燃 料 エ ネ ル ギ ー 革 命	2026 年 8 月 27 日に公表した Morimatsu グループ（代表企業：Morimatsu International Holdings Company Limited）との戦略的業務提携により、プラント設計・設備製作・立上げ・商業運転支援に至る実装機能を確保。当社が開発した非可食バイオマス由来のバイオエタノール生産プロセス（GWE プロセス・GOE プロセス）（注 4）のテクノロジーパッケージを、バイオマス資源が豊富で市場成長が期待される東南アジアを中核とする世界市場へ拡販するとともに、新たな生産プロセスの開発にも取り組み、持続可能な航空燃料（SAF）を含むバイオ燃料領域において国家プロジェクト規模のエネルギー転換に挑戦する。

当社は、優れた技術を生み出す研究開発企業に留まることなく、その技術を実際の商業生産設備として社会に実装し、新たなバイオものづくり産業そのものを創出することを目指しております。スタンダード市場への市場区分変更を成長の新たな起点として、企業価値の最大化に努めてまいります。

皆様には、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

注 3. パイプライン数および生産実証プロジェクト件数は、2026 年 9 月期第 3 四半期決算説明資料（2026 年 8 月 14 日開示）P.13～17 に記載の内容に基づいております。



4. GWE プロセス (GEI Wood to Ethanol) は木質バイオマスを原料とするバイオエタノール生産プロセス、GOE プロセス (GEI OPT to Ethanol) はパーム残渣 (OPT : Oil Palm Trunk) を原料とするバイオエタノール生産プロセスをいいます。
5. 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の研究開発の状況等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上